

定例記者会見（令和7年10月1日（水）12：00）会見場所：市政記者クラブ

## 1. カイキヨーリボーンプロジェクト社会実験の実施について

（総合政策部 共創イノベーション課）

本日の定例記者会見は、総合政策部、総務部から2件となります。

1件目は「カイキヨーリボーンプロジェクト社会実験」についてお知らせします。

本市では、令和5年2月に策定した「あるかぼーと・唐戸エリアマスターplan」に掲げる「日本を代表するウォーターフロントシティ」の実現を目指しております。その一環として、第6弾の社会実験を行います。具体的には、あるかぼーと親水緑地の海側に可動式のベンチやテーブル、植栽を設置し、周辺エリアの回遊性と滞在性を高め、関門海峡の景色を楽しみながら充実した海峡時間過ごせる憩いの空間を設けることの検証を目的としております。

この社会実験を「パレット・ポート・プロジェクト」と名付け、設置期間は令和7年10月11日（土）から令和8年3月31日（火）まで設置いたします。

この社会実験に併せて、10月11日から13日までの3連休に、あるかぼーと親水緑地で「カイキヨーフィーカ」を実施します。フィーカとは、スウェーデンの暮らしに根付いた習慣で、コーヒーと甘いものを楽しみながらリラックスしたひとときを過ごす文化であり、コーヒーや焼き菓子のお店、雑貨店など43店舗が出店予定です。開催時間は11時～17時ですが、10月11日は海響館のライトアップ点灯式もございますので、一部の店舗ではありますが、20時頃まで営業しています。ぜひ、設置したベンチに座ってコーヒーとお菓子を楽しみながら、関門海峡の絶景を皆さんにお楽しみいただきたいと思います。

この件については、以上です。

## 2. 職員のカスタマーハラスメント対策について

(総務部 職員課)

続きまして、職員のカスタマーハラスメント対策についてお知らせします。

近年、社会全体で深刻化しつつあるカスタマーハラスメントいわゆる「カスハラ」について、本市では、令和6年度に全職員を対象としたアンケートを実施し、回答した職員の中には、カスハラを受けることで心身や生活面に影響を受けた職員もあり、今後の市民サービスへの影響も考えられることから、このたび、カスハラ対策の基本方針を策定しました。

カスハラ対策の一環として、今年の4月から名札の写真を廃止し、名字のみに変更したことに加え、このたび、基本方針を策定し、職員向けのカスハラ対策を本格的に進めていくほか、カスハラ防止の啓発にも取り組んでいきます。

また、このカスハラ防止に向けての啓発ポスターを、市庁舎の窓口や庁舎内に掲示していくほか、通話録音装置の導入も行うこととしており、ハード・ソフト両面で対策を進めています。

引き続き、真摯な市民対応を基本とし、質の高い市民サービスの提供と働きやすい職員の職場環境づくりを実践していきたいと思っています。

こうした取組を進めることについて、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

本日の定例記者会見は、以上です。